

21 年産春野菜の需給・価格動向について

— 第 3 回野菜需給・価格情報委員会（平成 21 年 2 月 27 日開催）より —

1. 春キャベツ（4月～6月）の需給見通し

1 生産出荷状況

(1) 供給計画

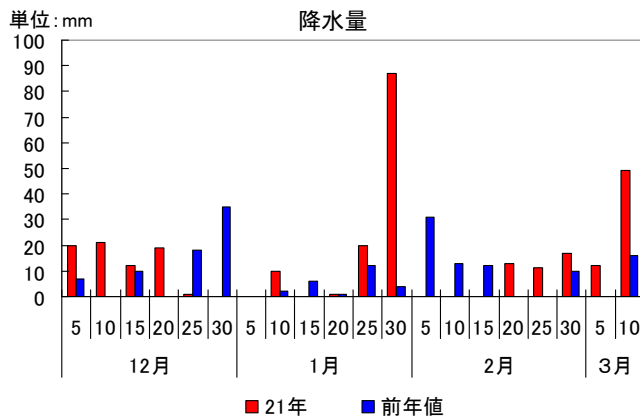
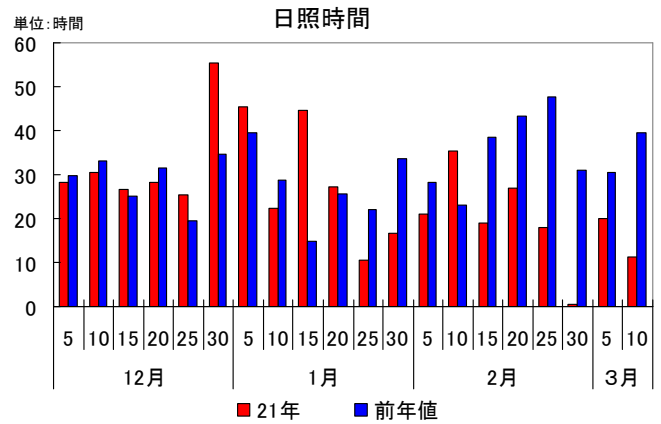
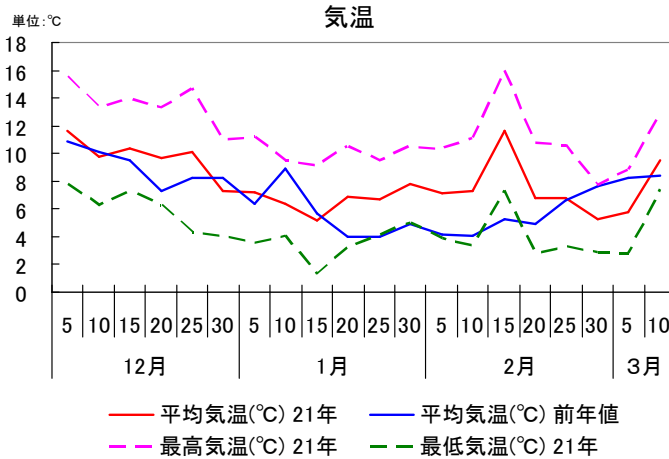
平成 21 年の春キャベツの供給計画によると、全農が 9 月に策定した当初計画では、作付面積は増を見込み対前年 103%（系統共販分）、10 アール当たりの収量も増を見込み、収穫量 108%、出荷量を 109%としたところである。確定計画は 3 月末策定により現在未発表。

○当初計画

作付面積 (ha)			10a 当たり収量 (kg)			収穫量 (t)			出荷量 (t)		
21 年	20 年	前年比	21 年	20 年	前年比	21 年	20 年	前年比	21 年	20 年	前年比
3,619	3,527	103	4,475	4,263	105	161,949	150,341	108	140,053	128,690	109

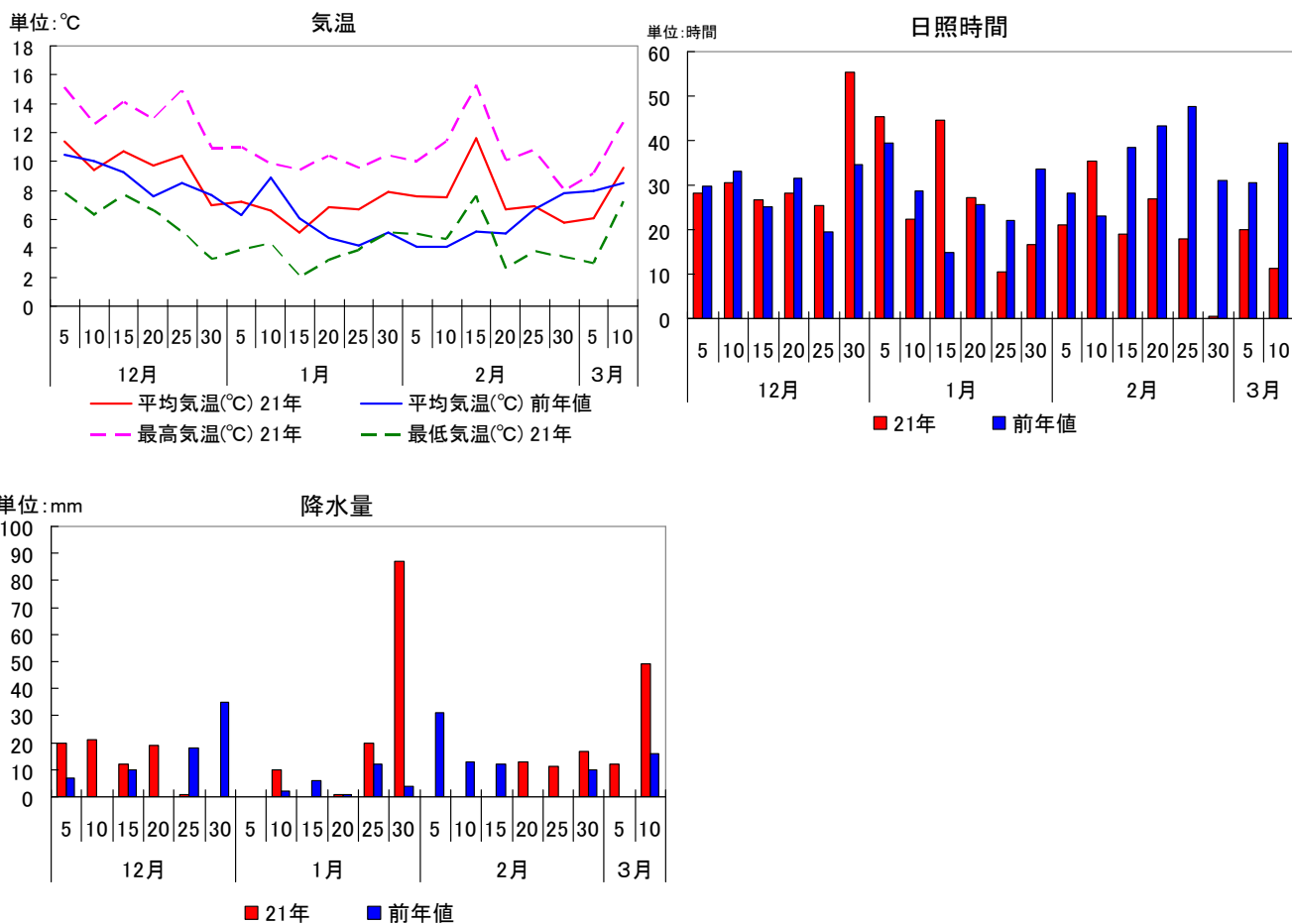
(2) 天候

- ① 主産地の千葉県の平均気温は、12 月は前年を上回って推移し、年末から 1 月半ばまでは前年を下回って推移したが、その後は前年を大きく上回って推移し、2 月下旬以降は前年を大きく下回る推移となっている。日照時間については、12 月は前年並みで推移し、年末から 1 月半ばまでは前年を上回って推移したが、その後は前年を下回って推移している。降水量は、12 月中旬までは前年を上回って推移したが、下旬から 1 月下旬まではほとんどゼロに無かった。1 月下旬に前年を大きく上回る推移となったが、2 月は半ばまではほとんどゼロに近い推移で、その後は前年を上回る推移となっている。



資料：農畜産業振興機構「ベジ探」、原資料：気象庁「AMeDAS」

② 同じく主産地の神奈川県のアverage気温は、12月は前年を上回って推移し、年末から1月半ばまでは前年を下回って推移したが、その後は前年を大きく上回って推移し、2月下旬以降は前年を大きく下回る推移となっている。日照時間については、12月は前年並みで推移し、年末から1月半ばまでは前年を上回って推移したが、その後は前年を下回って推移している。降水量は、12月中旬までは前年を上回って推移したが、下旬から1月半ばまではほとんどゼロに無かった。1月下旬に前年を大きく上回る推移となったが、2月は半ばまではほとんどゼロに近い推移で、その後は前年を上回る推移となっている。



(3) 生育・出荷状況及び今後の見通し

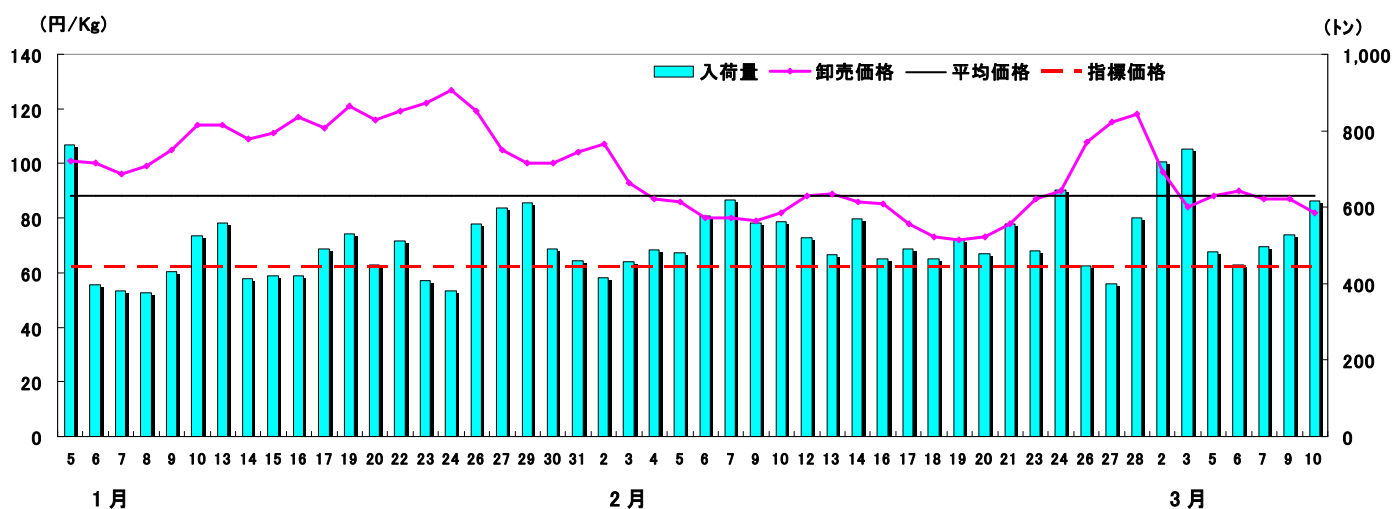
【野菜需給・価格情報委員会において事務局が提出した案】

- ① 昨年の価格は平年をやや下回り、作付け意欲に対してはマイナスに働くと考えられる。
- ② 供給計画の当初計画では収穫量は対前年比 108%であり、出荷量は対前年比 109%である。
- ③ これまでのところ主産地では天候は良好であり生育は順調である。
- ④ 3 か月予報では主産地がある関東地方の 3~5 月期の平均気温が高い確率は 50%であり、前年を上回る出荷が予想される。

【野菜需給・価格情報委員会での論議を踏まえた見通し】

- ・ 作付面積は、主産地の千葉は前年並、神奈川及び愛知は前年より増。
- ・ 生育状況は、良好な天候（温暖、適度な雨量）により前進傾向にあり、全体的に順調。
- ・ 価格は、産地が小玉を前倒しで出荷したことで、3月の入荷量は少な目となり、そこそこの価格水準が期待できるが、消費全体が低迷状態にあるため、現在主流のバラ売りやカット売りの販売形態を続ける限り、価格的には安値基調と予想。
なお、気温上昇による品質劣化（腐敗等）の可能性もあるため、相場は不安定含み。

キャベツの日別卸売数量と価格の推移
(東京都中央卸売市場)

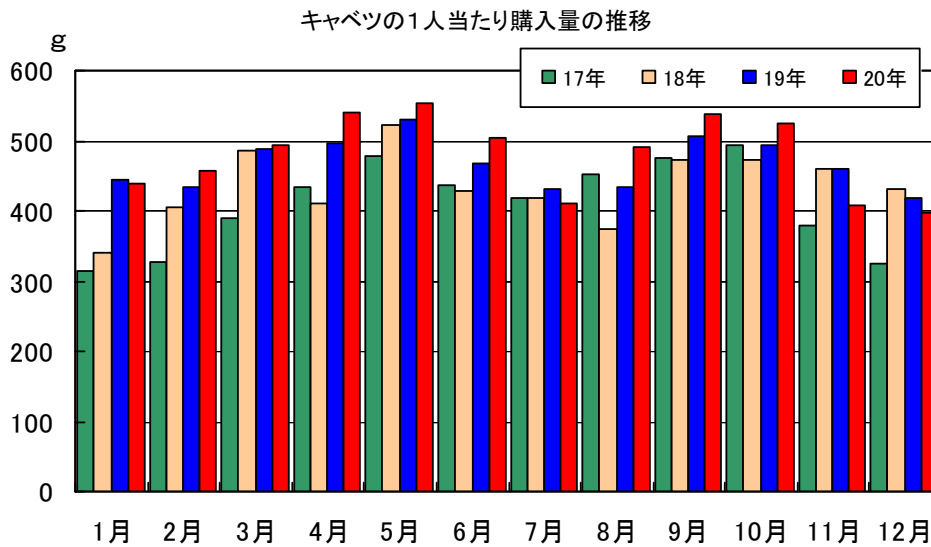


資料：農林水産省統計情報部「青果物日別取扱高統計結果」

2 需要動向

(1) 家計消費

家計調査によるキャベツの一人当たり購入数量をみると、4月から5月にかけて購入量が増加する時期となっている。



資料：総務省統計局「家計調査報告」

(2) 加工・業務用需要

キャベツの加工・業務用需要は、全体需要の48%と推定されている。

キャベツの加工・業務用需要の動向

平成2年	平成12年	平成17年
46%	48%	48%

資料：農林水産政策研究所調べ

(参考)

○春キャベツの市場隔離等の実績

年度	実施時期	実施数量(t)
S55		
56	5月中、下旬	315
57	5月上旬	150
58	4月中旬～6月上旬	429
59	4月上旬～6月中旬	8,378
60		
61	5月下旬	272
62		
63		
H元		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12	5月下旬	219
13	5月中旬	127
14	4月中旬	600
15		
16		
17	6月中、下旬	3,499
18		
19		

2. たまねぎ（4月～6月）の需給見通し

1 生産出荷状況

(3) 供給計画

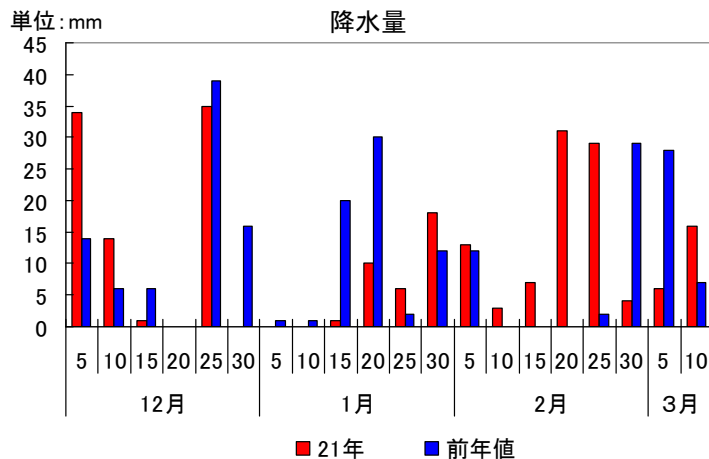
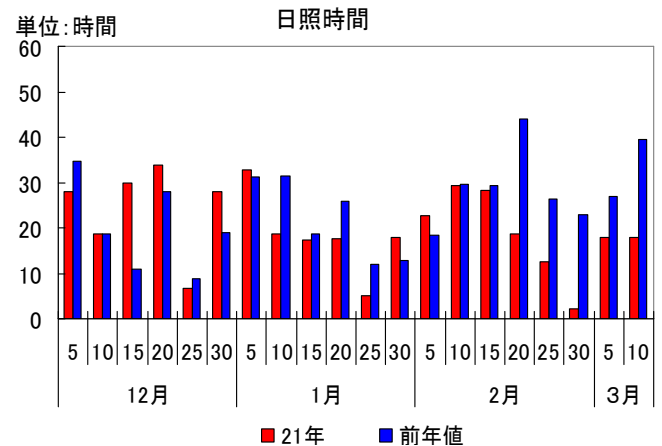
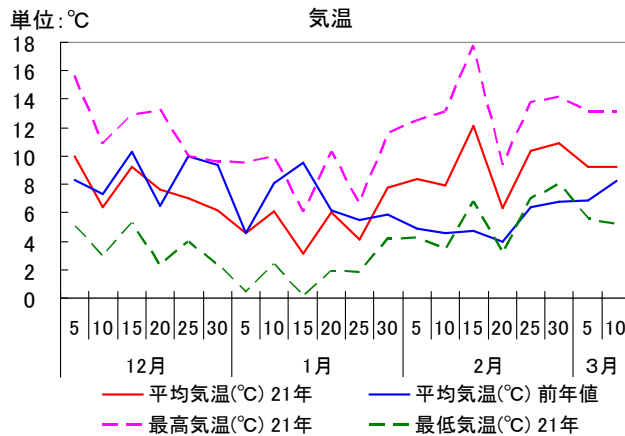
平成21年のたまねぎの供給計画によると、全農が9月に策定した当初計画(4月～10月)では、作付面積は対前年101%（系統共販分）であるが、10アール当たりの収量は前年並みを見込み、収穫量100%、出荷量を102%としたところである。確定計画は3月末策定により現在未発表。

○当初計画

作付面積 (ha)			10a 当たり収量 (kg)			収穫量 (t)			出荷量 (t)		
21年	20年	前年比	21年	20年	前年比	21年	20年	前年比	21年	20年	前年比
10,757	10,692	101	5,284	5,293	100	568,409	565,920	100	518,386	509,732	102

(4) 天候

主産地の佐賀県の本年の天候は、12月半ばまではほぼ前年並みで推移し、その後は前年を大きく下回る推移となったが、1月末からは、前年を大きく上回る推移となっている。日照時間については、12月は前年を上回って推移し、1月は前年を下回って推移したが、その後は前年をやや上回って推移し、2月半ば以降は前年を下回る推移となっている。降水量は、12月上旬は前年を上回って推移したが、下旬の一時期に前年並みの降水があったが1月半ばまではほとんどゼロに無かった。1月下旬以降は2月末までは前年を上回る推移となり、その後は前年を下回る推移となっている。



(3) 生育・出荷状況及び今後の見通し

【野菜需給・価格情報委員会において事務局が提出した案】

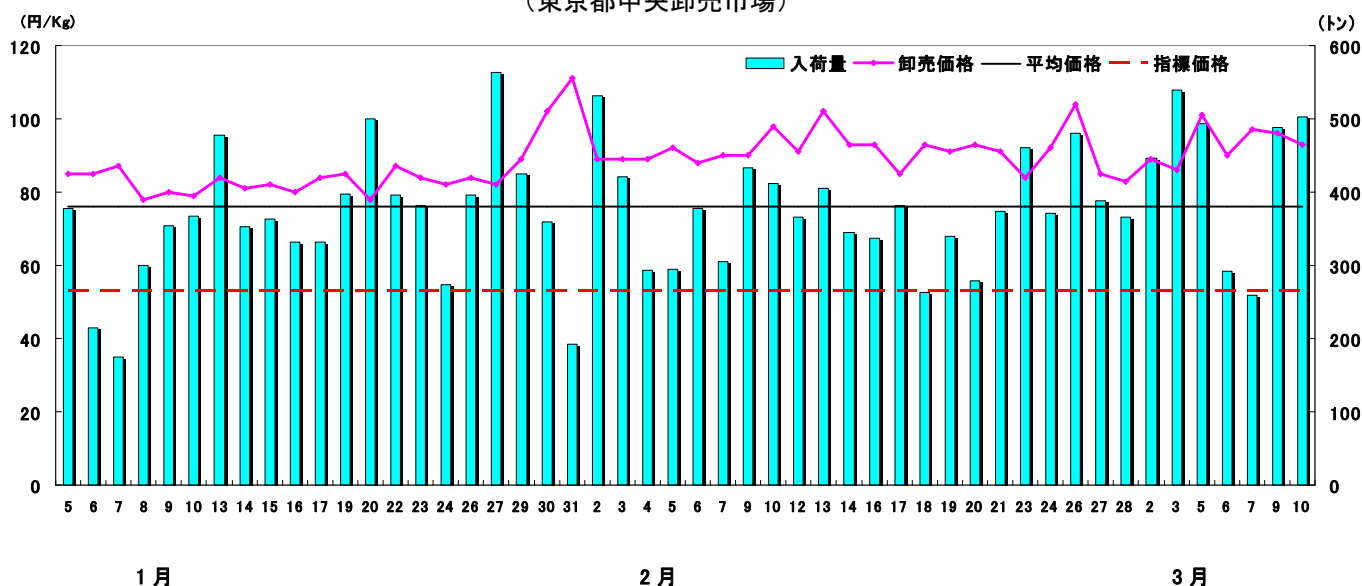
- ① 昨年の価格は平年をやや下回り、作付け意欲に対してはマイナスに働くと考えられる。
- ② 供給計画の当初計画では収穫量は対前年比 100%であり、出荷量は対前年比 102%である。
- ③ これまでのところ主産地では天候は良好であり生育は順調である。
- ④ 3 か月予報では主産地がある九州地方の 3~5 月期の平均気温が高い確率は 50%であり、前年並みの出荷が予想される。

【野菜需給・価格情報委員会での論議を踏まえた見通し】

- ・ 作付面積は、主産地の佐賀で前年に比べて増、兵庫で前年に比べて減。
- ・ 生育状況は、佐賀では、1月以降の低温日照不足により、平年より1旬程度の遅れがみられたが、2月後半から3月にかけて気温の上昇により回復傾向。また2月頃より病害が県内全域で確認。兵庫では12月から1月の干ばつ・低温の影響により生育が遅れていたが、その後の適湿・適温により回復傾向。また、ペト病（※）発生の懸念あり。
- ・ 価格は、①北海道産が4月まで出荷見込であること（対前年3~5千トン増）、②（4月以降北海道産から切り替わる）県産ものの作付面積が全体で増加し、かつその生育状況が順調であること、③景気の低迷が続くと思われることにより、安値基調と予想。

※ペト病→春先に多湿条件で発生する。葉色が淡黄緑色になって生育が劣る。4月中下旬~5月上旬に曇雨時がつづくると大発生する。5月中旬以降も低温多湿がつづけば大被害となるが気温の上昇とともにおさまる。（農事組合法人ながさき南部生産組合 HP より）

たまねぎの日別卸売数量と価格の推移
(東京都中央卸売市場)

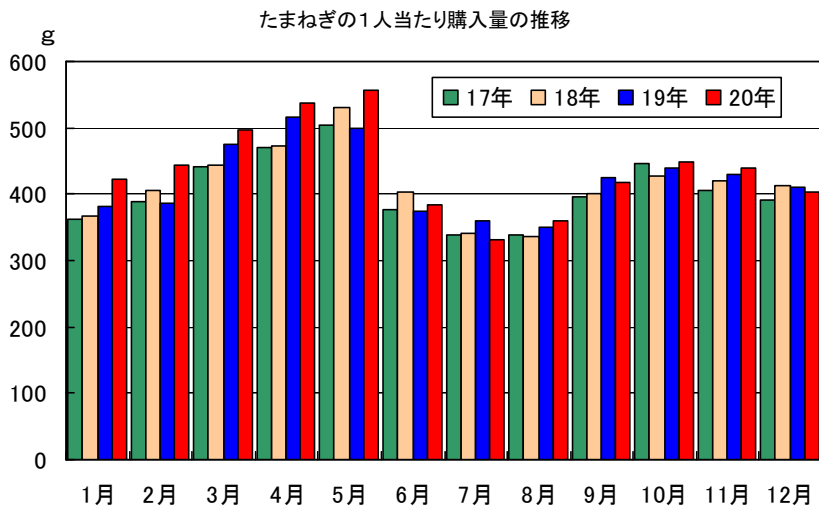


資料：農林水産省統計情報部「青果物日別取扱高統計結果」

2 需要動向

(1) 家計消費

家計調査によるたまねぎの一人当たり購入数量をみると、4月から5月にかけては年間でも最も購入量が多い時期となっている。



資料：総務省統計局「家計調査報告」

(2) 加工・業務用需要

たまねぎの加工・業務用需要は、全体需要の59%と推定されている。

たまねぎの加工・業務用需要の動向

平成2年	平成12年	平成17年
54%	58%	59%

資料：農林水産政策研究所調べ

(参考)

○たまねぎ(4月～6月)の市場隔離等の実績

年度	実施時期	実施数量(t)
S55		
56		
57		
58	4月中旬～4月下旬	833
59	4月中旬	2,721
60	5月下旬～6月上旬	1,864
61		
62		
63		
H元		
2		
3	4月上旬～4月中旬	9,753
4	6月下旬	299
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14	4月上旬～6月下旬	10,634
15		
16		
17		
18		
19		